

令和6年度 南郷小学校 学校教育目標・学校経営方針

校 訓 考える子 美しい心の子 元気な子

1 教育目標

豊かな知性と人間性をそなえ、たくましく未来を生きぬく児童の育成

2 めざす児童の姿

○ 校訓を実現する児童

- ①考える子：自ら進んで学び、自分の考えを持ち、表現することができる子
- ②美しい心の子：命を大切にし、自分にも人にもやさしく、あいさつができる子
- ③元気な子：前向きにチャレンジし、あきらめない心と体をもつ子

低【自立】自分のことは自分でできる。友達と仲良くできる。

中【協力】学級のこと自分たちでできる。友達の良さを認めて協力できる。

高【貢献】学校全体のことを考えて行動できる。自分の良さを生かして貢献できる。

3 学校経営方針

みんな（児童・教職員・保護者・地域の方）が笑顔になる学校
～ 「全児童の担任は全教職員！チーム南郷」を合言葉に ～

○めざす学校の姿 【児童・教職員が共に日々成長する学校】

- ①一人一人が目標をもち、意欲的・主体的に学習に取り組む学校
- ②互いの個性を認め合い、助け合って行動できる学校
- ③安全・安心で、児童や保護者・地域から信頼される学校
- ④自分をほめることができる学校

○めざす教師の姿 【子どもたちを信じ、チーム南郷で前向きに取り組む】

- ①スクラム：児童や保護者に信頼される教師
 - ・児童の良さを認め、ほめて伸ばす指導
 - ・学級経営力や授業力を組織的に高め合う。
- ②スマイル：明るく健康で協調・協働できる教師
 - ・児童や保護者に寄り添い傾聴し、誠心誠意向き合う。
 - ・あいさつやコミュニケーションを大切にし、相談し合えるチーム
- ③チャレンジ：主体的に指導力向上に努める教師
 - ・失敗を恐れず、新たな課題に前向きに取り組む。
(「トライ&エラー⇒修正」の繰り返し)
 - ・ICTを効果的に活用する。(教師⇒児童)

4 今年度の重点目標

(1) 確かな学力の向上

- 相手に伝わるように、過不足なく表現できる力を育成する。
 - ・ BE THE PLAYER PLAN を基に全教職員が一体となって、個別最適で協働的な学びの一体化の実現を図る。
 - ・ 学校研究（国語・算数）を中心に、主体的・対話的に学ぶ児童を育成するために、児童に学びを委ね、児童の学びを調整する力をつける授業づくりを推進する。

(2) 豊かな心の育成

- 互いに理解し認め合う中で自己有用感を高め、主体的に行動できる力を育てる。
 - ・ 全教職員が一体となり、いじめ・不登校・問題行動等に対し、未然防止・早期発見・早期対応に努める。
 - ・ 生徒指導提要の4つの視点（自己存在感、共感的理解、自己決定、安全・安心な場）を意識した教育活動（授業）を行う。
 - ・ 道徳教育の充実を図り、よりよい学校生活となるよう、尊敬・感謝の気持ちを持ち、自分の役割と責任を自覚し、礼儀正しい言葉遣いや挨拶、返事ができる児童を育成する。

(3) 健やかな体の育成

- 挑戦する気持ちを大切にし、たくましくやり抜いていく心と体を育てる。
 - ・ 体力アップ1校1プランの推進により、運動の習慣化や体力の向上を図る。
 - ・ 食育や基本的な生活習慣、心の健康、感染症予防、熱中症対策等に関する指導の充実を図り、児童の心身の健康についての意識を高める。

(4) 教職員の指導力の育成

- 組織的・効率的な学校運営や校内研修会の充実により、教職員の資質・能力を高める。
 - ・ 全教職員が責任を持って分掌事務を遂行するとともに、各分掌グループが組織的に業務運営を遂行する。
 - ・ 研究授業、GIGA、生徒指導関係、若プロ等を計画的に実施し授業改善・指導力向上に努める。

(5) 家庭・地域との信頼関係や連携・協力体制の推進

- 地域に開かれた学校として、学校の教育活動の取り組みを家庭・地域に発信し連携を強化する。
 - ・ 学校評価や教育活動の家庭・地域への公開等を通して信頼される学校づくりを目指す。
 - ・ 地域と連携し、子どもたちの可能性を最大限に引き出す学校づくりのために、コミュニティ・スクールを推進する。

(6) 危機対応・危機管理の徹底

- 子どもが安心して学ぶことができる環境づくりに努める。
 - ・ 計画的な避難訓練の実施や防災教育の充実により、教職員の危機管理意識や児童の危機対応力の向上を図る。
 - ・ 「報告・連絡・相談」の徹底を図り、諸課題に対して組織的に対応し、安全・安心な学校づくりに努める。